

# 四国植物防疫研究

第 15 号

1980年（昭和55年）8月

## 目 次

カブラヤガ細胞質多角体病ウイルスについて	
V. 鱗翅目昆虫に対する病原性……………尾崎幸三郎・安富範雄・谷田 孝……	1
徳島県のナシ園およびその周辺生垣におけるハマキガ類幼虫の 寄生性天敵昆虫の寄生活動……………行成正昭……	5
高知県香長平野水系の有機りん系殺虫剤による汚染……………平野千里・園田耕作……	23
育苗箱におけるイネごま葉枯病程度と収量	
イ. 中苗移植について……………石井正義……	28
キュウリ・モザイク・ウイルス（Cucumber mosaic virus）による セルリーの茎えて症状……………山本孝猪・石井正義・大畑貫一……	31
各種アブラムシによるカボチャ・モザイク・ウイルス（WMV）の伝染 ……………山本孝猪・石井正義……	37
促成ナスにおけるホルモンの単花処理による灰色かび病の防除について ……………北村正和・井上 孝……	41
タマネギ葉先枯れから分離される病原菌について……………衣川 勝・野田弘之……	49
カラタチ台における実生系ポンカンの生育とウイルス感染による接木部 異常症状の発現……………宮川経邦・脇川勝美……	57
ウンシュウミカン果実の結果部位における黒点病感受性の差異 ……………松本英紀・大森尚典・石井卓男……	63
カンキツ黒点病に対するウンシュウミカン果実の熱誘導感受性 ……………松本英紀・石井卓男・大森尚典……	69
農業用資材の薬剤（イチバン乳剤）による消毒……………臼井牧夫・大崎憲生・飯田定彦……	73
本会記事……………	79
本年度特異的な発生をした病害虫とその対策ならびに防除上の問題点……………	80
灰色かび病の薬剤耐性（協議会話題）……………	84
会員消息……………	89